

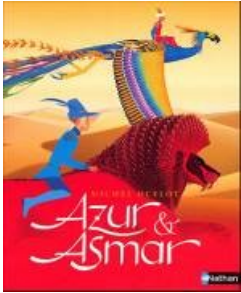
Les Ressources du mois

- Avril 2010 -



Alliance Française de Sapporo
札幌アリアンス・フランセーズ

Le film coup de cœur

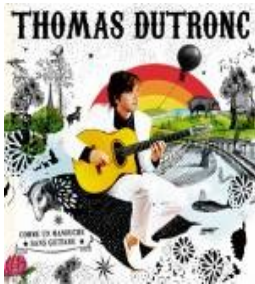


Azur et Asmar, Michel Ocelot, 2007

『アズールとアスマール』ミシェル・オスロ監督

フランス人領主の息子である青い目のアズールは、黒い目のアスマールとともに、アスマールの母であるアラビア人女性に育てられた。しかし、彼らが親しくすることが気に入らないアズールの父は、息子の成長を機に、アスマールとその母親を追いだしてしまうのだが…。『キリクと魔女』のオスロ監督が描く冒険ファンタジー。

A écouter à tout prix !



Comme un manouche sans guitare, Thomas Dutronc, 2008.

歌・ギター：トマ・デュトロロン

このデビュー・アルバムは、トマ・デュトロロンの持つ、軽快で優しさとユーモアにあふれたシンガーソングライターとしての雰囲気が高く出ている。ギター奏者としてのデュトロロンを愛するファンにとっても、期待を裏切らない内容で、マヌーシュのスウィングとシャンソンが自然に重なり、ボサノバ的な雰囲気も所々に交えた佳作。春の訪れを楽しむのにぴったりの一枚である。

A découvrir

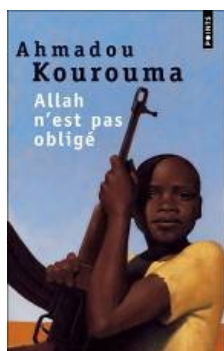


Europe Japon, regards croisés en BD, Paul Herman, 2009

『ヨーロッパと日本 漫画を通して見つめあう文化』ポール・エルマン著

何千キロという距離に隔てられた「旧大陸」と「日出ずる処」…。それでも、幾千という図像を見ると、日本とヨーロッパの文化がお互いに良い影響を与えあっていることが色濃く表れているのである。ポール・エルマンが、この文化とグラフィックを通じた対話が見て取れる資料をこの本にまとめてくれたわけだ。見るだけでも楽しい豪華本。単なる寄せ集めではない 350 の図版が、1854 年以降の日本、そして日欧関係の歴史を物語る興味深い一冊。

Le roman du mois



Allah n'est pas obligé, Ahmadou Kourouma, 2000

『アラーの神にもいわれはない - ある西アフリカ少年兵の物語』アマドゥ・クルマ著
2000年 ルノドール賞、高校生のゴンクール賞

良いイスラム教徒ビライマが、『アラーの神もこの下界における全てのものに正しくある義務はない』と題する自らの人生を語る。自分の母親が亡くなり、故郷の村から叔母のところへ送られることになるのだが、教育も受けていない男の子は、少年兵となり、カラシニコフを手に入れるのだった。

一番つらい時期を顧み、彼は、リベリアの英語からアフリカのフランス語、はたまた“プティ・ロベール”の洗練された語彙などを使いながら、自分の辿ってきた道を語るのだ。

Pour les petits (et les grands...)



Cyrano, Tai-Marc Le Thanh et Rébecca Dautremer, 2005

『シラノ』文：タイ=マルク・ル・タン・絵：レベッカ・ドートルメール

タイ=マルク・ル・タンは、筋立ての面白さだけでなく、ユーモアや嘲笑といったエドモン・ロスタンによる原作の持ち味を生かした物語を作り上げた。そして、その不幸なストーリーが、イラストレーターのレベッカ・ドートルメールによって、19世紀の日本や中世ヨーロッパを彷彿とさせる想像の国の物語として美しく描き出されている。ディテールの描き方や色遣いにセンスがあふれている。子ども向けの本に留まることなく、美しい絵が連綿と現れ、自然と拍手してしまうような珠玉の一作である。

En français facile



La guerre des boutons, Louis Pergaud, 1913

『わんぱく戦争』ルイ・ペルゴ著

このお話しの主人公は子どもたち。二つの対立するグループの間で「ボタン戦争」が勃発。戦争とはいっても、敵対している相手の子を捕まえたり、おしりをぶったり、服を脱がせたり、服のボタンを全部切り取ってしまったというもので...

この本はイヴ・ロベール監督によって、1961年、映画化されている。

La presse française à l'Alliance



le français dans le monde

隔月刊

1月のお勧めで紹介した「ル・フランセ・ダン・ル・モンド」がリニューアルされた。特に、最新号は下記ホームページで全ページが紹介されている。フランス語の授業のみならず、フランス語に興味を持っている方にも読みやすい内容になっている。ぜひ、一度手にってみては。

le français dans le monde : <http://www.fdlm.org/>